

## 買い替えの場合

- 日立品** → 現在使用のポンプの型式を日立ポンプ機種変遷表で照らし合わせ、最新型のモデルを選定します。
- 他社品** → ポンプの種類(出力、電源など)で、日立ポンプ仕様一覧表より類似のものを選定します。

## 新規の場合

以下の条件を確認し、適した機種を選定します。

### 1. 使用目的

自動式か非自動式かを選びます。

**自動** → 一般家庭の給水用

**非自動** → 長時間の連続運転、一時に多量の水を使用。

※非自動式ポンプのON-OFFは、手動、または相手機器との連動、制御リレーなどで行ってください。

### 2. 吸上高さ

ポンプの種類を選びます。

右下のポンプ配管例では、吸上高さが  
 $5\text{m} + (\text{吸込管全長} \times 0.1^{\text{注1}}) = 5.8\text{m}$

浅井戸用ポンプ、もしくは浅深両用ポンプ(浅井戸配管)を選びます。

※運転中の水位変化、湯水期の水位低下を考慮に入れてください。

注1 配管抵抗です。

### 3. 押し高さ

右のポンプ配管例では、押し高さが  
 $3\text{m} + (\text{吐出管全長} \times 0.1^{\text{注2}}) = 4.5\text{m} < 5\text{m}$

日立ポンプ機種選定早見表より押し高さ5m以上のものを選びます。

注2 配管抵抗です。ヘッダー配管の場合は0.15を目安としてください。

### 4. 使用水量

水栓の数、特に2個以上の水栓を同時に使用する時の水量を考慮してください。

(同時使用水栓個数×10L/分がおよその目安です)

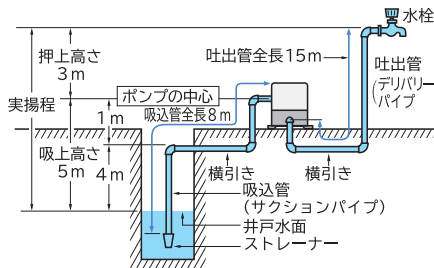
※同時使用水栓個数とポンプの関係の目安を日立ポンプ機種選定早見表に表します。一戸の場合、たとえば台所、手洗い、トイレ、風呂、庭など5個の水栓中、同時に使用する水栓は2個程度です。

### 5. 電源

単相100Vか、三相200Vかを選びます。

一般家庭用には単相100V、動力電源が引き込まれているところでは三相200Vをお選びください。

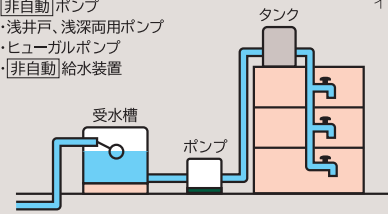
#### ポンプ配管例



イメージ図

### 高架タンクへの給水用

- [非自動]ポンプ
  - ・浅井戸、浅深両用ポンプ
  - ・ヒューガルポンプ
  - ・[非自動]給水装置

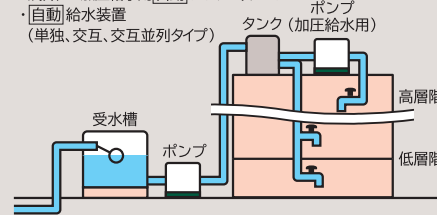


イメージ図

※ポンプの水源は、受水槽(水道水)、地下水など。  
 ※高架タンク等の液面リレーとの連動で、ポンプのON-OFF制御。

### 高層階の加圧給水用

- 加圧給水装置
  - ・浅井戸・加圧給水用[自動]ブラダ式ポンプ
  - ・[自動]給水装置(単独、交互、交互並列タイプ)

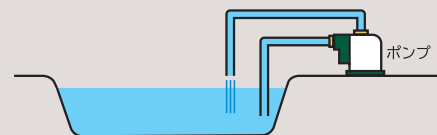


イメージ図

※高架タンク給水等で、高層階の水圧不足解消用として使用。

### 池水循環

- [非自動]ビルジポンプ

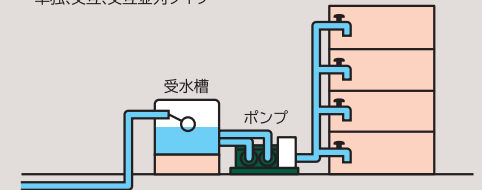


イメージ図

※連続昼夜運転の場合は、消耗部品(メカニカルシールなど)の定期交換(4ヵ月程度)が必要です。

### ビル等への直送給水

- [自動]給水装置
  - ・単独、交互、交互並列タイプ

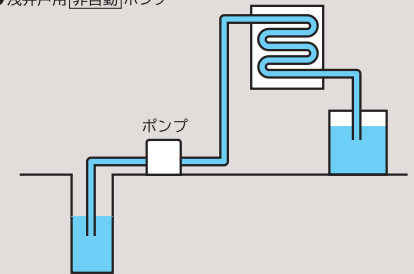


イメージ図

※水道メーターを設置する場合は水道局の認定が必要となります。(設置時、最寄りの水道局にご確認ください。)

### 冷却水の圧送

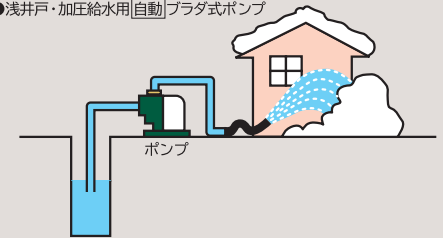
- 浅井戸用[非自動]ポンプ



イメージ図

### 融雪・農事・池水給水用

- [非自動]ヒューガルポンプ
- 浅井戸用[非自動]ポンプ
- 浅井戸・加圧給水用[自動]ブラダ式ポンプ



イメージ図

## 井戸揚水用ポンプ型式の見方

#### ポンプの種類

- W: 浅井戸用
- C: 浅深両用
- D: 深井戸用

#### 電源の種類

- P: 単相(100V)
- K: 三相(200V)

#### ポンプの方式

- T: 自動式
- M: 自動式(ミニタンク付)
- なし: 非自動式

#### シリーズ名

W T - P 200 X

#### モーターの出力